

# 非接触型の体温検知カメラ

体温測定精度は $\pm 0.3^{\circ}$ を実現

カメラの前を通るだけで、接触することなく「体温」の測定が可能です。

※ライブ映像とサーマル映像を同時に閲覧出来る為、状況把握が簡単



## 3つのポイント

1



黒体が標準温度サンプル体となり、映像上に常時表示されます。温度補正を行いながら測定温度を保ちます。

2



カメラにAI機能を搭載しているため、顔検出が可能。額の温度をピンポイントで測定することができます。

3



設定温度を超えた場合、カメラに搭載されているLEDとスピーカーでアラーム発信します。体調不良者への早期対応が可能



以下のような大勢の人達が集まる施設での、体表温度のスクリーニングを想定しています。  
医療機関、公共施設、オフィス、ホテル、学校、イベント会場、音楽場競技場（野球場・サッカー場等）

## 簡単な構成で高精度な体温検知が可能

### 【機器内容 / セット内容】



〈サーマルカメラ〉  
搭載レンズ  
サーマルレンズ：7mm  
可視光レンズ：8mm  
温度測定範囲 30°C～45°C  
温度測定精度 ±0.3°C  
電源：12V2A もしくはPOE対応  
  
三脚との接続専用金具  
三脚



〈黒体（標準機）〉  
作業温度：40°C  
（環境温度5°C～50°C）  
温度安定性：±（0.1～0.2）°C/  
30min  
  
三脚との接続専用金具  
三脚

※AIレコーダーは使用に対し必須ではありませんが、システム構築に入れることで、熱検知時にサムネイル画面で即座に表示することが可能であったり【SMART検索】機能にて【熱異常の人】などでの検索が可能となり、とても有効に活用できます。

### よくあるご質問

#### ○黒体の役割とは？

一定温度の基準ソースとして使用致します。人体の温度を測定するとき、黒体は35°Cに設定致します。それにより±0.3°Cの精度を満たすための温度補正の役割となります。

#### ○機器の安定化に必要な時間は？

黒体は電源を入れて20分間余熱します。サーマルカメラは電源を入れて60分余熱すると最高の効果が得られます。

#### ○温度測定に最適な温度範囲は？

屋内の無風で安定した環境であれば10°C～30°Cとなります。

#### ○温度測定に最適な距離は？

黒体と機器間の距離と同じです。7mmの検出距離は3メートル、幅は1.3メートルです。

#### ○検知できる顔の数は？

通常の使用では、最適な距離、範囲に人がいない場合もあり、遠すぎたり重複することもあるので正確な数はありません。尚検知速度は0.3秒/人となります。



株式会社アイピー総研

東京事務所：東京都新宿区新宿5-4-1 TEL:03-5341-4945 FAX:03-5341-4946

大阪事務所：大阪市北区東天満1-6-6 TEL:06-6352-0806 FAX:06-6352-0898